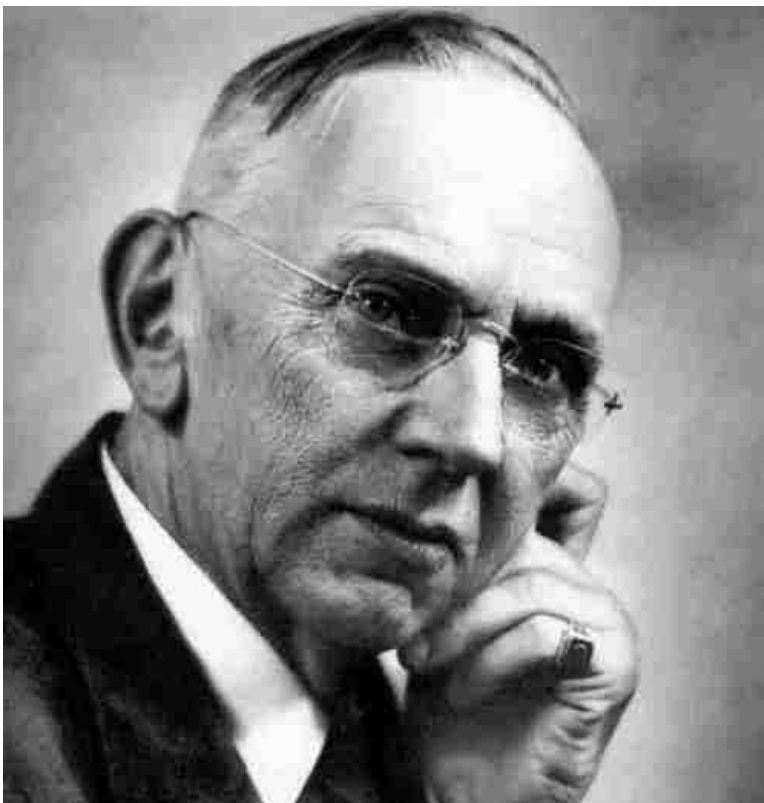


## エドガー・ケイシー預言——ロシア：世界の希望

【訳者注】前の記事で、引用されている Edgar Cayce (1877-1945) の預言 (予言) に興味を持たれる読者が少なくないと思われるので、その原典である Jeff Rense のエッセーを訳してみた。これが書かれたのは、最後の文章から推測して、2000 年代後半と思われる。それから 10 年ほど経っているから、エッセーの時代背景は少しずれているが (プーチンとロシアの位置づけは変わらない)、ケイシーの予言はますます正確であったことが、わかってきたのではないだろうか？

「多くの人々が、超自然の力とか影響力とか呼ぶものによる干渉が、もしなければ、…世界は全滅する」と、ケイシーが言っているものは、核兵器を neutralize (無力化) していると言われ、我々を保護していると言われる、高次元人間であろう。これを「神の干渉」と呼ぶこともできる。核兵器が使われない理由を、訊ねない方がおかしい。

Jeff Rense (Rense.com)



このアメリカ最大の心霊家のリーディング (霊媒としての口述内容) は、その未来の出来事の予知と投影によって、読む者をしばしば卒倒させる、驚くべきデータからなっている。何年も前、冷戦時代に、私は、ケイシーが——自分で作り出したトランス状態のセッションの一つの中で——ロシアについて、いくつかの驚くべきことを主張しているのを、読んだことがある。

今日、世界の多くの人々は、ロシアとウラジミール・プ

ーチンの優秀なリーダーシップを、世界的シオニズムの悪意ある、恐ろしい広がりを読み止める、唯一の希望として見ている。7月13日、日曜日の新しいロシア・イラン間の、戦略的なガス・石油協定の締結は、イランに対するどんな攻撃があっても、ロシアは直ちに直接、戦闘態勢に入ることを保証するものと思われる。ロシアが戦うのは、平和と、自由な独立した中東の側においてであり、それは世界の側だと言う人もあるかもしれない。

次の2つのエドガー・ケイシー・リーディングからの抜き書きは、どのような尺度から見ても、全く驚くべきものである。

## 最初のもの

この最初の短い例では、ケイシーは——1930年代後半に——カギを握る諸国家の「罪」を指摘した：——

アメリカ——神への信仰（“In God we trust”、米紙幣のモットー）を忘れてしまった  
イギリス——うぬぼれ（conceit）  
フランス——好色（lust）  
中国——孤立主義（isolationism）  
インド——知識の内面化（internalization of knowledge）  
イタリア——喧嘩（dissentions、内乱？）

これに対して彼は、「ロシアは世界にとって希望の灯となるだろう」と言った。イギリスの（ロンドンのシオニスト銀行屋どももの？）「うぬぼれ」とは何かと思うが、EU体制下でのシオニストのヨーロッパ征服を見ればよい。アメリカが「神への信仰を忘れた」というのは、不気味なほどに正確である。これが1930年代に言われていることを、忘れないでいただきたい。

## 2つ目は

この彼の力量をもっと詳細に語るこの部分で、ケイシーは、数多くの、ほとんど息をのむような投影を行っている——

ケイシーは、1次、2次両大戦の始まりと終わりを予言し、1933年には、大恐慌の終わりを予言した。1920年代に、彼は初めて、アメリカに人種の争いが起こると警告した。そして1939年には、2人の大統領の在職中の死を予言している：——

「汝ら (ye と言っている) は騒乱をもつだろう——資本家と労働者の間に紛争が起こるだろう。この職務の途中で死ぬことになる 2 番目の大統領が現れる前に、汝ら自身の土地は分裂するであろう。暴徒の支配だ！」

フランクリン・D・ルーズベルトは、1945 年 4 月に、在職中に死んだ。1963 年 11 月に、ジョン・F・ケネディ大統領は、テキサス州ダラスで暗殺された。それはアメリカで人種の緊張が、最高潮に達したときだった。

「生産する者たちのために、もっと多くのギブ・アンド・テイクと思いやりがなければ、また、労働からの過剰生産のより賢明な分配がなければ、この土地にはより多くの騒乱が起こらなければならない。」

1935 年 10 月に、ケイシーは、ヨーロッパで起こる戦争のことを話した。オーストリア人とドイツ人が、そして後には、日本人が参戦するだろうと彼は言った。

「こうして、ある目に見えない勢力が徐々に成長してきて、ナチス、またはアーリア人というテーマの、ほとんど正反対の立場を取るに違いない。これは徐々に、敵対感情を成長させていくだろう。そして、多くの人々が、超自然の力とか影響力とか呼ぶものによる干渉——それは国家や民族の問題のとき活動する——が、もしなければ、軍国主義集団や、権力の拡張を求める者たちによって、いわば全世界が火を放たれるであろう。」

(この「目に見えない勢力」とは、明らかに、シオニスト銀行カルテルのことであり、それが FDR 大統領や、ロンドンや、ウォール街の銀行屋どもの奸計を通じて、アメリカを強制してドイツに対し、第 2 次大戦を起こさせることである。記憶している人は少ないが、ボルシェビキ・共産主義者のシオニスト・ユダヤ人たちが、ドイツと全ヨーロッパの大規模な侵略に取り掛かる数週間前になったとき、ヒトラーが先手を切って、「バルバローサ作戦」を用いて侵攻し、共産主義/ボルシェビズムを、完全に破壊しようとした。)

ロシアを通じて、とケイシーは言った、「世界の希望がやってくる。時に共産主義とかボルシェビズムとか呼ばれているものには関係がない。そうではない！ 自由だ、自由がやってくる。すべての人が同胞のために生きようとする。この原則はそこで生まれた。それが結晶化するまでには長年月を要するだろう。しかしロシアの中から、再び世界の希望がやってくるだろう。」

ケイシーはまた、3 度目の世界戦争の可能性を予言した。彼はいくつか紛争が起こると言っ

た…「リビアに、エジプトに、アンカラに、そしてシリアに。ペルシャ湾の上のそのような領域を取り巻く海峡を通じて。」

更に後の 1943 年に、ケイシーは、戦争（第 2 次大戦）が終わったら、公正な国際世界通貨、または国際為替レベルの安定を目指すことが可能かと訊ねられ、それが起こるには、長い、長い年月がかかるだろうと答えた。実際、と彼は言った、「そのような条件の上に、もう一つ戦争（第 3 次大戦）があるかもしれない。」

-----

これ以上には明らかにならない。1943 年予言の最後のパラグラフは、世界の金融の犯罪的カルテルを指している。これは明らかに、シティ・オブ・ロンドンの、銀行と金融のコントローラーで、第 2 次大戦後、世界経済の真の公正な安定化を、妨げてきた者たちである。今日の「為替レベル」は、世界の“通貨”人形師によって設定されている。石油とエネルギーと銀行カルテル。そして、これによるすべてのコントロールと操作は、今は、それほど「目に見えない」勢力ではなくなった。

ケイシーの幻視の能力は並外れていた。そしてプーチン氏とロシアは、今のところ、この「見えない勢力」（世界シオニズム）が西側を完全にコントロールすることを妨げているという観点から、攻撃の矢面に立たされている。

ロシアはそれに対する唯一の障害物（すなわち“世界の希望”）である。そして、ブッシュ/チェイニー/シオニスト陰謀団は、明らかにロシアを、馬鹿げたブッシュの、ヨーロッパをイランのミサイルから守っているという、東欧の軍事的配備との戦争に、引き込もうとしている。

我々は、60 年以上を遡る、ケイシーの人生の最後の年（1945）に“見られた”と思われるタイムラインの、先端にいる。——Jeff Rense